

えつ? 瀬戸内海の土砂が辺野古に?

古新基地建設」の全容を知る

13年12月24日、 採取 で表面化 末に提出し 古新基地建設のため公有水面埋立承認 .後に県知事は許可してしまいました。 西 入れ 日 た最初であったと思います。 真 計 沖 西日本からの土砂採取計画 |画は2013年3月、 本各地から辺野古埋め ました。 縄県 しました。 た添付図書 戸 知事 防衛 内海会議 土砂採取を正 (当時) そして詳細 環境両省と沖縄県 I 10で明らかにな (以下、 に提 沖縄 立 出 は同 面 て用土砂 環瀬戸 した辺 防 [から 反 かし3 年5 対 衛 問 願 局 を 題 知 が n 月 書 野 が 0

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」 設立

北上田毅さん

「チョイさんの沖縄日記」より転載

团 と文化を守る奄美会議 島で土砂採取問題に取り組んでいた「自然 以下、 民団体が集 体、 辺 15年5月31日 野古土砂搬出 沖縄県内採取地の名護市 辺野古土砂全協 製造地に立ち上げら 設立されました。 鹿児島県奄 反対全国連絡協議会 は、 が連携 環 瀬 にして呼 美市 戸と奄美大 採取 本部 n た住 に7市 び 地 町 民 B か

大臣あ

てに提出、 HENOKO

10

月

61

万余筆を国会に提出しました。

請

願署名を開

始 か

沖縄県本部町安和鉱山全景。

沖縄ドローンプロジェクト撮影

府県17 両島ぐるみ会議 私たち辺野古土砂全協は、 团 体と個人会員で活動 が相次いで参加。 以下 しています。 現 の立場 在、 12 で

活動を進めてきました。

- 間基地の 減にならない。 年数200年の基地固定化 地機能を有する増強であり、 辺野古新基地は海空両 代替施設ではなく沖縄の 用、 こであり 最先端 かも耐用 負 担 普天 0) 基
- とって環境や景観の破壊であ 大量の土砂採取 は、 持ち出され る 側 13

2

破壊であり、 を引き起こす。 大量の・ 土砂搬入は、 外来生 |物混入 = 生態系破 辺野古と大浦湾 壊 0

3

る署名」を全国に呼び掛け、 辺野古埋 この立場 立て強行は断じて許せない 圧倒的な沖縄県民の声 <u>寸</u> て用土砂採取 から15年、 さらに18年 西日本各 計画 を無 0) 11万余筆を 撤 視 地 回 [を求 から 埋 総 8 \mathcal{O} 8

埋め立て用土砂「岩ズリ」

とし、採取地の環境への影響に「アセスメ を西日本各地から調達、とするものでした。 玉 長崎・熊本・鹿児島県、そして沖縄県本部 けたのでしょう。 のです。 粒土砂で、 ズリは、 ントの必要は 加えて既存採石業者から「岩ズリ」を購入 いました。必要量の75%、 |頭村の計7県15ヵ所を土砂採取地として 付図 沖縄防衛局はこの岩ズリに目を付 岩山を破砕・採石時に発生する細 業者には商品化できない厄介も 1 ない」と言い張りました。岩 10では、香川・山口 約1700万㎡ 福 岡 前

大量の土砂移動は生態系破壊!

が犯罪 す。 **亜熱帯域** そも生態系の異なる温帯域 混入防止対策を明示できていません。そも ど実検したが、 沖縄の生態系を攪乱することが危惧されま ど昆虫の卵や植物種子が岩ズリに混入し、 のアルゼンチンアリ・オオキンケイギクな 外来生物法」で 現に沖縄防衛局は水洗浄や高熱処理な 行為です。 の沖縄へ 搬入する土砂全量の外来種 の大量 「特定外来生物」 0) 土 の「本土」から、 一砂の移動自体 指定

る外来生物侵入防止条例」を成立させまし沖縄県は16年7月、「埋め立て用材に係

目的です。 動に伴う外来生物の侵入を防止することがた。県の過去の苦い経験を踏まえ土砂の移

岸海域 は、 べき海であることは明らかです。 性の豊かな海であり、「海洋保護区 ウミガメ・サンゴなど世界的にも生物多様 合意しました。 目標を採択し、 屋で開催の第10回締約国会議 生物多様性条約 玉 生物多様性の損失を止めるための愛知 「際社会は1992年、 の10%を海洋保護区にする」ことに 各国は「2020年まで沿 を採択しました。 辺野古 の海は、 地球サミットで (COP10)で ジュゴン、 10年名古 にす

建設用地は「軟弱地盤」、「活断層」

9 月 30 を撤回 て工事再開を強行しました。 かし安倍政権 城デニーさんが県知事に当選しました。 沖 縄 Ħ し工事はストップしました。 県は18年8月31日、 翁長雄志前知事の遺志を継ぐ玉 (当時) は12月14 辺野古埋 日 そして 立承認 埋 立め立

報告書によれば、 性をしぶしぶ認めざるを得なくなりました。 底に厚さ40mの 白になっていました。 16年3月の土質調査報告書で軟弱地盤 一軟弱地盤」の存在と地盤改良工事の必要 かし安倍政権は19年初頭、 「マヨネーズ並みの 大浦湾側に水深30mの海 情報公開請求で出 予定区域 軟弱 は明 地 た 0

から活断層の可能性も指摘されています。とことが広がっていたのです。かつ地質学専門家と

辺野古埋立工事設計変更申請

4 倍 書を提出しました。 う魂胆が見えます。 賀県と、 部や石垣・南大東島を加え、 砂全協は玉城知事への意見書を全国に呼び 反対の声がなければどこからでも採取とい 全県に広げ、熊本県では追加、 た瀬戸内海を外し、 画にも大きな変更がありました。 更申請)を提出、 た。にもかかわらず、沖縄防衛局は4月 三変更申請を「不承認」と表明してきま 知事の承認が必要であり、 更そして予算が必要です。変更には沖縄県 かけるとともに、 変更申請添付図書-6では、土砂採取 地 変更申請の公告・縦覧を行ないました。 盤改良工事には大幅 (必要量の5倍以上)に脹らませました。 埋立工事設計変更承認申請」 九州西側へ広げ、 沖縄県は9月8日から3週 不 当然ながら、 採取地に沖縄県では南 ·承認」 な設 玉城新. を求める意見 量 鹿児島県では 計と工期 も当初の約 さらには佐 遠く離れ 辺野古土 (以下、 知事 は再 0) 変 21

一粒もない!どの故郷にも戦争に使う土砂は

前知事の遺志を継いだ玉城デニーさんを

知事 土 0) に押し上 彨 私 を搬 たち げ 出させなけ が応える番です。 た沖縄 「の民意に、今度は「本 n ば、 辺 西日本各地 野古新基

す。 をすることは 地 はできません。 一砂搬出を自ら 埋 8 土 立 \hat{O} 一砂搬出を見て見ぬふ 問 てに加担することで 題と考え、 全国

> 絡協議会事務局長 (まつもと・のぶたか 土 砂 搬出ストッ 辺野 ! 古土砂搬出反対全国 0) 声 を!

連

n

これが辺野古新基地建設変更申請 ************************************

下記の表「土砂調達・搬入計画の概要」は、沖縄防衛局が4月21日、大浦湾の地盤改良工事の必要 に迫られ、沖縄県に提出した添付図書-6「埋め立て用土砂の採取場所と採取量」を集計したものです。

ただし、防衛局は「調達可能量」を示しているだけで、実際の土砂採取量は未定としています。



沖縄平和市民連絡会・北上田毅さん配信



沖縄県内の埋立土砂調達計画の概要

(調達可能量:単位は㎡)

			-		
	当初計画		変更計画		
地区	採取場所	調達可能量	地区	採取場所・搬出港	調達可能量
本部地区	本部町・名護市	620万	北部地区	本部町・名護市	948.2万
	<海上搬送>			<海上搬送>	
	本部塩川港・安和桟橋			本部塩川港・安和桟橋	
				<陸上搬送>	
国頭地区	国頭村 海上搬送	50万		国頭村	234万
				<海上搬送> 奥港	
				<陸上搬送>	
② 沖縄防衛局の提出した添付図書では、当初計画で「ストック量」と表記し、変更計画では「調達可能量」と表記している。既存採石場・鉱山に積み置かれた岩ズリの推計量であり、その全量を搬出することを意味しない。反対の声がなければ搬出という魂胆。なお、沖縄県内の採取地は「鉱山法」に基づく石灰岩の鉱山である。県南部の糸満市や八重瀬町には石灰岩の鉱山が数多くあり、しかも沖縄戦時に多くの県民が命を茶とした地である。その地からの基地建設用土砂採取に、県民の抵抗感は極めて強いといわれる。			宮城島地区	うるま市	30万
				<海上搬送> 中城湾	
				港	
			南部地区	糸満市・八重瀬町	3,159.6
				<海上搬送>	万
				中城湾港•那覇新	
				港?	
			南大東島	<海上搬送>	6万
			宮古島	保良 <海上搬送>	50.5万
			石垣島	<海上搬送>	48万
合 計		670万			4,476.3万

「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」については下記をご 参照ください。

http://stophenoko.html.xdomain.jp/

沖縄県外からの埋立土砂搬入計画の概要 (■は専用桟橋等 調達可能量:単位はm)

県	地区	当初計画		変更計画	
		採取場所	調達可能量	採取場所・搬出港	調達可能量
鹿児島県	徳之島	徳之島町→平土野港	10万	徳之島町→平土野港	
				天城町 →平土野港	570万
				徳之島町→亀徳港	-
	奄美大島	龍郷町→名瀬港・■		龍郷町(4ヵ所)→■	
		住用町(3カ所)→■(2カ所)	530万	住用町(2カ所)→■(2カ所)	1,190万
		瀬戸内町→古仁屋港		瀬戸内町→古仁屋港	1
				加計呂麻島→瀬相港	
	大隅地区	(佐多岬地区)錦江町→■	70万	錦江町→志布志港	407.5万
				肝付町(6カ所)→志布志港	
				鹿屋市(2ヵ所)→志布志港	
				曽於市→志布志港	
				志布志市(2カ所)→志布志港	
	姶良•伊佐		0	湧水町→姶良港	80万
	地区			姶良市→姶良港	
	南薩地区		0	南さつま市(2ヵ所)→枕崎港	167.8万
		,		枕崎市→枕崎港	
	鹿児島地区		0	鹿児島市(3カ所)→谷山港	1,900万
				南九州市→谷山港	
			0	日置市→谷山港	
				日置市→串木野港	
				串木野市→串木野港	
	北薩地区		0	川内市→川内港	50万
				出水市→出水米ノ津港	
熊本県	天草地区	御所浦町→■	300万	御所浦町→■	250万
l	宇城地区		0	宇城市→三角付近の港	20万
長崎県	五島地区	五島市本窯町→■	150万	五島市本窯町→■	200万
<u> </u>				南松浦軍新上五島町→■	20073
佐賀県	伊万里地区		0	伊万里市→■	5万
福岡県山□県	門司地区	北九州市(3ヵ所)→■			0
		周南市黒髪島→■	740万	2013 年申請時の採 取地、門司地区・瀬 戸内地区は「O」に	
		防府市向島→■			
香川県	瀬戸内地区	小豆島町→■	30万		0
合 計			1,830万		4,840.3万
沖縄県内外合計		2,500万		9,316.6万	

(注) 埋立に必要な土砂(岩ズリ)の総量は1,690万㎡

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会広報紙「つながる力」18号より転載、一部加筆しました。